



# 平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月1日

上場取引所 東

上場会社名 日本化成株式会社

コード番号 4007 URL <http://www.nkchemical.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 中村 英輔

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 関 信哉

TEL 03-5540-5861

四半期報告書提出予定日 平成26年8月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

## 1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	8,804	7.6	239	—	288	—	223	—
26年3月期第1四半期	8,182	15.4	△76	—	△49	—	△17	—

(注)包括利益 27年3月期第1四半期 254百万円 (—%) 26年3月期第1四半期 △13百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	2.12	—
26年3月期第1四半期	△0.16	—

### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	自己資本比率	%
27年3月期第1四半期	35,113		11,805		33.6	
26年3月期	34,870		12,116		34.7	

(参考)自己資本 27年3月期第1四半期 11,805百万円 26年3月期 12,116百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	0.00	—	2.00	2.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	17,500	2.3	300	7.1	440	△9.7	220	△38.9	2.09
通期	37,500	1.8	1,250	37.4	1,600	11.0	850	14.6	8.09

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期1Q	105,115,800 株	26年3月期	105,115,800 株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	31,928 株	26年3月期	30,928 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期1Q	105,084,122 株	26年3月期1Q	105,085,933 株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

(説明資料) 平成27年3月期 第1四半期決算概要

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における日本経済は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動の影響が見られたものの、緩やかな回復基調で推移し、海外経済についても、一部になお緩慢さを残しつつも、米国をはじめとする先進国を中心に緩やかな回復を継続しました。

このような状況下、当社グループは、新中期経営計画「NKC-Plan2015」のメインテーマである「安定的な収益基盤の実現」に向け各種経営諸施策に全力を挙げて取り組んでまいりました。

こうした中、当社グループの当第1四半期連結累計期間の業績は、合成石英粉、ホルマリン・木材加工用接着剤、電子工業用高純度薬品、紫外線硬化性樹脂、エンジニアリング事業等が比較的堅調に推移したことに加え、昨年極めて厳しい状況にあったアンモニア系製品のマイナス幅が縮小したこと等から、前年同期比大幅な増収・増益となりました。

具体的には、当第1四半期連結累計期間の売上高は8,804百万円（前年同期比7.6%増）、営業利益は239百万円（前年同期は営業損失76百万円）、経常利益は288百万円（前年同期は経常損失49百万円）、四半期純利益は223百万円（前年同期は四半期純損失17百万円）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

## (無機化学品事業)

アンモニア系製品は、硝酸は主要顧客向け販売が回復したものの、硝酸塩類が厳しい状況で推移したこと及び前年同期は液体アンモニアの大口スポット需要があったこと等により、販売数量、売上高とも減少しました。合成石英粉は、半導体関連分野の需要回復等により、販売数量、売上高とも増加しました。ディーゼル車脱硝用高品位尿素水（AdBlue®）は、市場競争の激化が継続する中、拡販努力等により、販売数量、売上高とも増加しました。電子工業用高純度薬品は、販売数量は前年同期並みとなりましたが、ウエハー用途向けが堅調であったこと等により、売上高は増加しました。

その結果、全体の売上高は3,993百万円（前年同期比7.2%減）となりました。

## (機能化学品・化成品事業)

紫外線硬化性樹脂は、光学フィルム向け需要が好調であったことから、売上高が増加しました。TAIC®（ゴム、プラスチック架橋助剤）、脂肪酸アマイドは、主要顧客向けの販売が減少したこと等から、販売数量、売上高とも減少しました。

メタノールは、販売数量は概ね横ばいとなりましたが、国際市況が昨年に比べ高値ポジションにあったこと等もあり売上高は増加しました。ホルマリン及び木材加工用接着剤は、主要顧客の需要が引き続き堅調に推移したこと等により、販売数量、売上高とも増加しました。

その結果、全体の売上高は3,364百万円（前年同期比16.5%増）となりました。

## (エンジニアリング事業)

一般プラント工事受注拡大及び大型受注案件の検収前倒し等により、売上高は1,091百万円（前年同期比68.1%増）となりました。

## (その他)

貨物運送・荷役事業は、前年同期並みとなりました。有機溶剤等の蒸留・精製業は、一部主要顧客の需要回復等により若干増収となりました。

その結果、全体の売上高は312百万円（前年同期比1.3%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産の残高は、前連結会計年度末に比し243百万円増加し、35,113百万円となりました。これは、主に現金及び預金並びに有形固定資産等の増加が、売上債権等の減少を上回ったことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における負債の残高は、前連結会計年度末に比し554百万円増加し、23,308百万円となりました。これは、主に退職給付会計基準の改正に伴い、退職給付に係る負債が増加したこと及び流動負債のその他等の増加が、仕入債務及び賞与引当金等の減少を上回ったことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比し311百万円減少し、11,805百万円となりました。これは、主に四半期純利益等が増加したものの支払配当金及び退職給付会計基準の改正による影響により利益剰余金等が減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は33.6%（前連結会計年度末は34.7%）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今年度は、新中期経営計画「NKC-Plan2015」見直し後2年目という重要な節目に当たりますことから、年度目標を確実に達成すべく、引き続きグループの総力を挙げて各種経営諸施策の実行に心血を注いでまいります。

今後の日本経済については、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動の影響が次第に和らぐ中で、基調的には緩やかな回復を続けていくものと想定されておりますが、新興国・資源国経済の動向、解決道半ばの欧州債務問題、米国経済の回復動向、地政学的リスクの高まり等、海外諸情勢の不透明感が払拭し切れない状況にあります。

こうした中、当社の連結業績予想につきましては、前述の通り、当第1四半期連結累計期間の業績は、前年同期比大幅な増収・増益となりましたものの、エンジニアリング事業において当初第2四半期に検収を予定していた大型受注案件の検収前倒し効果が含まれていること、また、当社事業の主原料であるメタノール国際市況の急変動が及ぼす影響、更には、各事業の関連需要先の動向等、慎重に見極めるべき諸要素がありますことから、現時点では、平成26年5月13日に公表した内容を変更しておりません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

## 会計方針の変更

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を、割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数とする方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債が550百万円増加し、利益剰余金が355百万円減少しております。なお、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,366	1,796
受取手形及び売掛金	9,409	8,480
商品及び製品	2,930	2,919
仕掛品	1,052	1,090
原材料及び貯蔵品	1,404	1,468
その他	2,153	2,404
貸倒引当金	△61	△40
流動資産合計	18,253	18,117
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,194	3,158
機械装置及び運搬具(純額)	1,811	1,725
土地	4,931	4,919
建設仮勘定	372	720
その他(純額)	177	170
有形固定資産合計	10,485	10,692
無形固定資産		
その他	67	62
無形固定資産合計	67	62
投資その他の資産		
その他	6,081	6,257
貸倒引当金	△16	△15
投資その他の資産合計	6,065	6,242
固定資産合計	16,617	16,996
資産合計	34,870	35,113

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,400	6,102
短期借入金	9,167	9,167
未払法人税等	71	26
賞与引当金	285	85
その他	2,883	3,555
流動負債合計	18,806	18,935
固定負債		
長期借入金	399	347
役員退職慰労引当金	89	45
退職給付に係る負債	3,359	3,880
その他	101	101
固定負債合計	3,948	4,373
負債合計	22,754	23,308
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,593	6,593
利益剰余金	5,609	5,267
自己株式	△6	△6
株主資本合計	12,196	11,854
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	57	69
退職給付に係る調整累計額	△137	△118
その他の包括利益累計額合計	△80	△49
純資産合計	12,116	11,805
負債純資産合計	34,870	35,113

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	8,182	8,804
売上原価	7,041	7,297
売上総利益	1,141	1,507
販売費及び一般管理費	1,217	1,268
営業利益又は営業損失(△)	△76	239
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	21	16
持分法による投資利益	4	5
受取賃貸料	13	31
その他	18	19
営業外収益合計	56	71
営業外費用		
支払利息	23	19
その他	6	3
営業外費用合計	29	22
経常利益又は経常損失(△)	△49	288
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	△49	288
法人税、住民税及び事業税	32	73
法人税等調整額	△64	△8
法人税等合計	△32	65
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△17	223
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△17	223



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△17	223
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4	12
退職給付に係る調整額	—	19
持分法適用会社に対する持分相当額	0	△0
その他の包括利益合計	4	31
四半期包括利益	△13	254
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△13	254
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	無機化学品 事業	機能化学 品・化成品 事業	エンジニア リング事業	計				
売上高								
(1) 外部顧客への 売上高	4,302	2,888	649	7,839	308	8,147	35	8,182
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	25	7	32	77	109	△109	—
計	4,302	2,913	656	7,871	385	8,256	△74	8,182
セグメント利益 又は損失(△)	△133	41	4	△88	8	△80	4	△76

(注)1. 「その他」の区分は、貨物運送・荷役事業、有機溶剤等の蒸留・精製業であります。

当第1四半期連結累計期間において、「その他」に含まれている「貨物運送・荷役事業」の外部顧客への売上高は282百万円、セグメント利益は14百万円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額

	金額(百万円)
電気及び蒸気の販売 による損失(△)	△5
その他の調整額※1	65
全社費用※2	△56
合計	4

※1. その他の調整額は、主に各報告セグメントに帰属しない全社資産に係るもの及び各報告セグメントに配分していない原価差額であります。

※2. 全社費用は、各報告セグメントに配賦した一般管理費の予定配賦額と実績発生額との差額及び報告セグメントに帰属しない一般管理費、研究開発費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	無機化学品 事業	機能化学 品・化成品 事業	エンジニア リング事業	計				
売上高								
(1) 外部顧客への 売上高	3,993	3,364	1,091	8,448	312	8,760	44	8,804
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	28	7	35	91	126	△126	—
計	3,993	3,392	1,098	8,483	403	8,886	△82	8,804
セグメント利益	95	142	13	250	15	265	△26	239

(注)1. 「その他」の区分は、貨物運送・荷役事業、有機溶剤等の蒸留・精製業であります。

## 2. セグメント利益の調整額

	金額(百万円)
電気及び蒸気の販売 による利益	0
その他の調整額※1	44
全社費用※2	△70
合計	△26

※1. その他の調整額は、主に各報告セグメントに帰属しない全社資産に係るもの及び各報告セグメントに配分していない原価差額であります。

※2. 全社費用は、各報告セグメントに配賦した一般管理費の予定配賦額と実績発生額との差額及び報告セグメントに帰属しない一般管理費、研究開発費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

平成27年3月期 第1四半期決算概要

1. 連結業績

[単位:百万円]

	当第1四半期 連結累計期間 (H26.4.1- H26.6.30)	前年同四半期 連結累計期間 (H25.4.1- H25.6.30)	増減	
			金額	率
売上高	8,804	8,182	622	7.6%
営業利益	239	△76	315	-
金融収支	△3	△2	△1	※1
その他営業外	47	25	22	※2
持分法損益	5	4	1	
経常利益	288	△49	337	-
特別損益	-	-	-	
税引前利益	288	△49	337	-
四半期純利益	223	△17	240	-
1株当たり四半期純利益	2円12銭	△0円16銭		

※1 金融収支の主な内訳

	H26/6	H25/6	差
受取配当金	16	21	△5
支払利息	△19	△23	+4

※2 その他営業外差異主な内訳

	H26/6	H25/6	差
受取賃貸料	31	13	+18

①セグメント別売上高(連結)

		当第1四半期 連結累計期間 (H26.4.1- H26.6.30)	前年同四半期 連結累計期間 (H25.4.1- H25.6.30)	増減
報告 セグメント	無機化学品	3,993	4,302	△309
	機能化学品・化成品	3,364	2,888	476
	エンジニアリング	1,091	649	442
その他		312	308	4
調整額		44	35	9
計		8,804	8,182	622

合成石英粉は半導体関連分野の需要回復、AdBlue®は拡販努力、EL薬品はUVH用途向けの堅調、硝酸は主要顧客向け販売の回復により、それぞれ増収となるも、硝酸塩類の厳しい状況及び昨年は液体7フッ素の大口採引需要があったこと等により、対前年同期比減収

紫外線硬化性樹脂は光学フィルム向け需要が好調であったこと、マノールは販売数量は横ばいであったものの国際市況が昨年に比べ高値ポジションにあったこと、ホルミン・木材加工用接着剤の需要が引き続き堅調に推移したこと等により、対前年同期比増収

一般プラント工事受注拡大及び大型受注案件の検収前倒し等により、対前年同期比増収

貨物運送・荷役事業は前年同期並みとなるも、有機溶剤等の蒸留・精製業は一部主要顧客の需要回復等により若干増収となり、対前年同期比微増

上記セグメントに属さない電気・蒸気等のコーポレート部門の売上高を調整額として表示

②セグメント別営業利益(連結)

		当第1四半期 連結累計期間 (H26.4.1- H26.6.30)	前年同四半期 連結累計期間 (H25.4.1- H25.6.30)	増減
報告 セグメント	無機化学品	95	△133	228
	機能化学品・化成品	142	41	101
	エンジニアリング	13	4	9
その他		15	8	7
調整額		△26	4	△30
計		239	△76	315

合成石英粉、EL薬品が比較的堅調に推移したことに加え、昨年極めて厳しい状況にあった7フッ素系製品のマイナス幅が縮小したこと等から、対前年同期比増益

紫外線硬化性樹脂は光学フィルム向け需要が好調であったこと、マノール及びホルミン・木材加工用接着剤の需要が引き続き堅調に推移したこと等により、対前年同期比増益

一般プラント工事受注拡大及び大型受注案件の検収前倒し等により、対前年同期比増益

貨物運送・荷役事業は前年同期並みとなるも、有機溶剤等の蒸留・精製業は一部主要顧客の需要回復等により収益が改善し、対前年同期比増益

原価差額及び上記セグメントに属さない電気・蒸気等のコーポレート部門の損益を調整額として表示  
(含みらいブロンズ外開発費用 H26第1Q △44 H25第1Q △41)

2. 連結比較貸借対照表

	当第1四半期 連結会計期間末 (H26.6.30)	前連結会計 年度末 (H26.3.31)	増減		当第1四半期 連結会計期間末 (H26.6.30)	前連結会計 年度末 (H26.3.31)	増減
現預金	1,796	1,366	430	有利子負債	9,514	9,566	△52
売上債権	8,480	9,409	△929	仕入債務	6,102	6,400	△298
たな卸資産	5,477	5,386	91	その他負債 ※1	7,692	6,788	904
固定資産(有形・無形)	10,754	10,552	202	株主資本 ※2	11,854	12,196	△342
投融資等	6,242	6,065	177	その他の包括利益累計額 ※3	△49	△80	31
その他資産	2,364	2,092	272				
資産合計	35,113	34,870	243	負債・純資産合計	35,113	34,870	243

(注) 自己資本＝純資産－少数株主持分  
D/E比率＝有利子負債／自己資本

自己資本	11,805	12,116	△311
自己資本比率	33.6%	34.7%	△1.1%
有利子負債	9,514	9,566	△52
D/E比率	0.81	0.79	0.02

※1 増減内訳：その他流動負債 +672、退職給付に係る負債 +521、賞与引当金等 △289

※2 退職給付会計基準改正による影響△355を含む

※3 増減内訳：退職給付に係る調整累計額 +19、その他有価証券評価差額金 +12

### 3. 連結キャッシュ・フロー

	当第1四半期 連結累計期間 (H26.4.1- H26.6.30)	
営業活動によるCF	1,202	売上債権の減少額 929、税前利益 288、減価償却費 192、仕入債務の減少額 △298、その他の流動負債の増加額等 91
投資活動によるCF	△538	設備投資 △557、有形固定資産の売却による収入等 19
フリー・キャッシュ・フロー	664	
財務活動によるCF	△234	配当金の支払 △182、借入金の返済等 △52
現金及び現金同等物に係る換算額	0	
現金及び現金同等物の増減	430	

(参考)

前年同四半期 連結累計期間 (H25.4.1- H25.6.30)
901
287
1,188
△459
△0
729

### 4. 連結通期業績予想

(平成26年5月13日発表)

	27年3月期			26年3月期 実績	増減	
	上期	下期	通期		金額	率
売上高	17,500	20,000	37,500	36,829	671	1.8%
営業利益	300	950	1,250	910	340	37.4%
経常利益	440	1,160	1,600	1,441	159	11.0%
特別損益	△100	△200	△300	△380	80	
税引前利益	340	960	1,300	1,061	239	22.5%
当期純利益	220	630	850	742	108	14.6%
1株当たり当期純利益	2円09銭	6円00銭	8円09銭	7円06銭		
1株当たり配当金(期末のみ)		2円	2円	2円		

#### ①セグメント別売上高

	27年3月期			26年3月期 実績	増減	
	上期	下期	通期			
報告セグメント						
無機化学品	8,850	8,950	17,800	17,706	94	小名浜工場硝酸系製造の終了に伴う販売減をAdBlue®、合成石英粉等の拡販努力により補い前年同期並み
機能化学品・化成品	6,400	7,100	13,500	12,536	964	ルマリン・木材加工用接着剤が引き続き堅調に推移すること等により増収
エンジニアリング	1,550	3,250	4,800	5,173	△373	一般プラント工事受注減等により減収
その他	620	630	1,250	1,262	△12	
調整額	80	70	150	152	△2	上記セグメントに属さないコーポレート部門の売上高を調整額として表示
計	17,500	20,000	37,500	36,829	671	

#### ②セグメント別営業利益

	27年3月期			26年3月期 実績	増減	
	上期	下期	通期			
報告セグメント						
無機化学品	230	470	700	270	430	硝酸製造の黒崎集約化による効果及びAdBlue®、合成石英粉等の販売数量増により増益
機能化学品・化成品	100	350	450	333	117	ルマリン・木材加工用接着剤が引き続き堅調に推移すること等により増益
エンジニアリング	0	150	150	321	△171	一般プラント工事受注減等により減益
その他	20	30	50	51	△1	
調整額	△50	△50	△100	△65	△35	上記セグメントに属さないコーポレート部門の損益を調整額として表示
計	300	950	1,250	910	340	